

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月20日更新

事務事業名		春ウォーキング大会開催事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原哲也	
	施策	22	生涯スポーツの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	櫛野 努	
	基本事業	71	スポーツへの参加機会の提供				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519	
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10800	法令根拠	スポーツ基本法		成果優先度評価結果	①
										コスト削減優先度評価結果	⑫
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	約6kmのコースを自然や文化財に触れながら、2時間ほどかけて散策する。近年健康ブームにより、ウォーキングについての関心が高まってきた。合志市でも歩くことの大切さ、交流することの楽しさを広めたいという理由で春ウォーキングを開催した。旧合志町・旧西合志町住民の交流を行えるように旧町間を交互にコース設定している。また、ゲーム的要素を取り入れたウォークラリー形式もとりいれている。
【業務の流れ】	コースの設定～資料作成～体育指導員実施会議～参加者募集～救護員・参加賞・1日保険等準備～試歩～大会～後片付け
【主な予算費目】	報償費・消耗品費・役務費・使用料及び賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	ウォーキングに参加して、参加者同士の交流があった、スポーツを始めるきっかけになった、来年も参加したいという結果が寄せられた。また、楽しかった等感謝の気持ちが寄せられた。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
ヴィーブルから竹迫城跡公園周辺のコース約6kmで実施し、161人の参加があった。		弁天山付近のコースでウォークラリーを開催する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ア:開催回数	回	大会参加賞購入費の増
⇒イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市民	⇒ア:人口	人
	⇒イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
歩くことによりスポーツを始めるきっかけとなり、参加者同士の交流がある。	⇒ア:参加者数	人
	⇒イ:	
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
より多くの市民がスポーツを始めるきっかけとなってもらうため。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
①活動指標	ア回		1	1	1	1	1	1	1	1
	イ:									
②対象指標	ア人		55,828	56,638	56,829	57,206	57,377	57,925	58,474	59,000
	イ:									
③成果指標	ア人		101	205	200	161	200	200	200	200
	イ:									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	30	29	45		60	45	45
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		11	80	83	117	80	80
	(A)事業費計		千円	30	40	125	83	177	125	125
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
			千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	5	5	5	0	5	5	5	5
	延べ業務時間	時間	81	104	93	0	93	93	93	93
	(B)人件費計	千円	333	419	375	0	375	375	375	375
トータルコスト(A)+(B)		千円	363	459	500	83	552	500	500	500

事務事業名	春ウォーキング大会開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 固定した参加者もあり、年々参加者は増加傾向にある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 コース設定等に趣向を凝らせば参加意欲も上がり、参加者数の向上も期待できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 大会運営謝礼の削減・大会賞品のごみ袋等配布による参加賞の削減等を行っており、削減の余地は無い。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人数で対応している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 参加者の制限はなく公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市歩こう会や体育協会へ移行する方法、総合型地域スポーツクラブがイベントとして実施する方法もある。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

一般道路での事故防止のため、より良い円滑な運営を行う必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"> </td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								